

# 気軽に文化講座「コミュニティ・カレッジ in 内子」 令和8年度カリキュラム

愛媛大学地域共創研究センター/気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子懇話会/内子町教育委員会 共催プロジェクト  
会場はいずれも内子自治センターですが、ライブ配信による聴講を希望される方は、Zoomを利用して聴講できます。

詳しくはうら面をご覧ください。

開催月	講 座 内 容	講 師
5月25日(月) 19:00~20:30	<p><b>天守から見る伊予国の近世城郭</b></p> <p>天守は城郭建築の中で最も知名度が高く、その姿形が個性的であることから最も人気のある古建築です。最初の本格的な天守は、織田信長の安土城天主と考えられ、その後、豊臣秀吉の大坂城など各地の城郭に天守が築られました。本講座では、型式など天守の見方の基礎を学んだ上で、愛媛県における近世城郭(今治城・松山城・大洲城・宇和島城)の天守について特色(個性)などについてお話しします。</p>	<p><b>佐藤 大規</b></p> <p>愛媛大学社会共創学部 地域共創研究センター 副センター長・准教授</p> <p>専門：文化財</p>
6月11日(木) 19:00~20:30	<p><b>みんなが知っている「道後温泉」。しかし意外と知らない。</b></p> <p>「道後温泉」の名は誰もが聞いたことのある場所だと思います。夏目漱石の『坊っちゃん』縁の地、また古くからある温泉地として、その名は広く知られています。しかし、その歴史を詳しく語る人は意外と少ないのではないのでしょうか。さらに、令和6年12月まで続いた保存修理工事は、内部の様子がほとんど公開されることなく進められてきました。あの工事で、いったい何が行われていたのか。工事中に撮影した貴重な映像とともに、知られざる道後温泉の歴史に迫ります。</p>	<p><b>野本 健</b></p> <p>愛媛大学客員研究員</p> <p>専門：建築史・地域文化デザイン・映像制作</p>
7月16日(木) 19:00~20:30	<p><b>埋もれた文化財の「語り」に学ぶ</b> ー小田地区太田城プロジェクトー</p> <p>今から約30年前に発掘された小田・城の台の太田城ではたくさんの戦国時代の遺物が発掘されました。しかし、その遺物はほとんど人の目に触れることなく旧小田町郷土資料館にひっそりと埋もれていました。しかしこの遺物たちのホコリを落とし、光を当て、適切な方法で検討すると、約500年前の太田城、そして小田にあった人々の暮らしが見えてきました。今回はこのプロジェクトの取り組みと目指すところについてお話しします。</p>	<p><b>村上 恭通</b></p> <p>愛媛大学東アジア古代鉄文化 研究センター・センター長 (社会共創学部兼任)・教授</p> <p>専門：考古学</p>
8月27日(木) 19:00~20:30	<p><b>四国遍路の形成と戦国動乱</b></p> <p>四国遍路の原型は、古代・中世の僧侶や修行者たちがおこなった辺地修行にあります。戦国時代になると世俗の人びとも巡礼に参加するようになり、現在につながる四国遍路の大衆化の兆しがみられます。八十八ヶ所霊場は、遅くとも江戸時代のはじめには成立したことが明らかになっていますが、その起源については依然として不明な点が残されています。今回は、戦国動乱とくに合戦と城の観点から四国遍路の形成を考えます。</p>	<p><b>川島 佳弘</b></p> <p>愛媛大学法文学部 四国遍路・世界の巡礼研究 センター兼任教員・准教授</p> <p>専門：日本中世史</p>

<p>9月24日(木) 19:00~20:30</p>	<p>昭和「100年」、そして未来へ —内子町小田の古写真を調査して考えたこと— 令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)の改元から満100年を迎える「昭和100年」の年です。「昭和」は、戦争と復興、そして高度経済成長へと向かう激動の時代でした。昭和の記憶や先人の軌跡に触れることは、昭和生まれの世代にとっても、平成生まれの世代にとっても「今」を考えるうえで重要であり、新たな発見の中に未来への鍵があります。内子町小田での古写真調査を踏まえながら、この記念すべき年に「昭和」について語り合ってみましょう。</p>	<p>井口 梓 愛媛大学社会共創学部 地域共創研究センター センター長・教授 (学生：定村珂音・平井完樹 田山晴翔) 専門：文化資源マネジメント</p>
<p>10月22日(木) 19:00~20:30</p>	<p>「環境に優しい」を考える —はじめてのライフサイクルアセスメント— 私たちが生活する中で「環境に優しい」という言葉があふれています。たとえば、エコカーとして知られる電気自動車は本当に環境に優しい製品といえるのでしょうか？この講座では、世界的に注目を集める「ライフサイクルアセスメント」を使って、この疑問について一緒に考えます。ライフサイクルアセスメントを学ぶことで、買い物などの私たちの生活行動の背景に潜む地球温暖化を中心とした環境問題の存在に気づくことができるようになります。</p>	<p>布施 正暁 愛媛大学社会共創学部 教授 専門：土木計画学・ 土木環境システム</p>
<p>11月26日(木) 17:30~19:30 講座後、懇親会実施 参加費 1,000円 (学生 500円)</p>	<p>シンポジウム 「ひらかれる地域、ひろがる世界 —国際協力・国際連携・国際交流のこれから—」</p>	<p>小林 修 愛媛大学国際連携推進機構 副機構長・教授 専門：環境ESD 島上 宗子 愛媛大学国際連携推進機構 教授 専門：東南アジア地域研究 笠松 浩樹 愛媛大学社会共創学部 (地域共創研究センター 兼任) 准教授 専門：農山漁村振興</p>
<p>※12月以降は、懇話会企画の講座を実施予定。お楽しみに</p>		

- 会 場： 内子自治センター 1階 多目的ホール
- 受 講 料： 年会費2,000円／ご興味のある講座のみの受講も可能(各講座500円) 但し、高校生以下は無料
- 問い合わせ： 内子町教育委員会 自治・学習課 Tel0893-44-2114  
気軽に文化講座コミュニティ・カレッジ in 内子 懇話会会長 森長照博 Tel0893-44-2094
- ライブ配信による聴講を希望される方は、受講日前日までに下記のメールアドレスにご連絡ください。  
自治・学習課代表メール [gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp](mailto:gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp)

コミュニティ・カレッジ in 内子は、愛媛大学と立ち上げた文化講座です。  
身近な文化的な学びの場として、お気軽にご参加ください。

